



第47回 鉄構塗装技術討論会 開催のご案内

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

協 賛

(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁建設協会
(一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会 (一社)日本鉄鋼協会
(一社)日本塗装技術協会 (一社)日本塗料工業会
(一財)日本塗料検査協会
(公社)腐食防食学会 (公財)スガウエザリング技術振興財団

■本討論会は、土木学会のCPDを申請予定です。

インフラ構造物は人々の命や暮らしを守り、社会・経済活動を支える重要な社会基盤であり、災害時にもその機能を発揮することが求められます。これらの多くは高度経済成長期以降に集中的に整備されており、建設から50年以上経過する老朽化施設が加速度的に増加しつつありますが、老朽化によるインフラの機能不全を招かぬためには、平時から計画的に維持管理・更新を進めていかなければなりません。

道路構造物の老朽化対策の一環として、2014年に定期点検が義務化され、5年に1度の点検は今年度より3巡目に入りました。これまで、点検・診断については知見や課題点が集積され、考え方や方法の見直しに反映されるなど、回を追うごとに点検自体の質の向上や合理化は図られてきています。一方で、特に地方自治体などでは厳しい財政状況や技術職員の不足などから、定期点検により修繕が必要と診断された構造物への措置が十分に進んでいない状況にあります。このような現状を打破するためには、構造物の維持管理・更新に係る技術の高度化が不可欠であり、生産性向上、効率化、省人化、低コスト化に資する技術開発の重要性は一層大きくなるものと思われます。

各種の防食技術がある中で、塗装は明治以来の長年にわたって鋼材の防錆防食技術として適用されてきた信頼性を有しており、重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が望まれています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として活用されることを期待し、開催するものです。

本討論会は、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように、鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。次頁の要領にて開催いたしますので、ふるってご参加くださいますよう、また、関係各位へのご連絡ともども宜しく願いいたします。

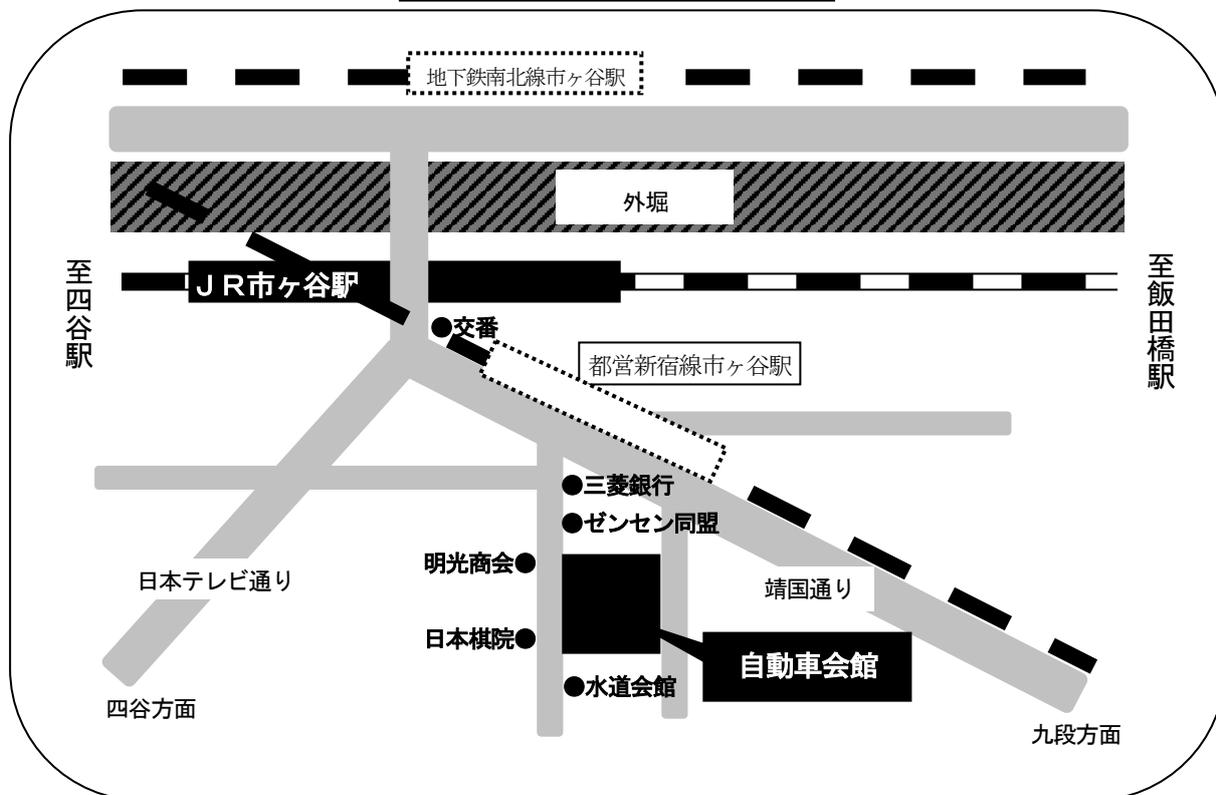
今年度も本討論会へ多数の御参加をいただきますよう、宜しく願いいたします。

鉄構塗装技術討論会実行委員長：富山 禎仁（鋼構造物塗装小委員会委員長）

開催要領

1. 日 時：2024年10月31日(木)～11月1日(金)
2. 会 場：自動車会館 2階 大会議室
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 (電話) 03-3264-4719
3. 参加費：会員(協賛団体も含む)…11,000円(消費税込み)
一般…14,300円(消費税込み)
官公庁職員・学生…11,000円(消費税込み)
4. 申込方法：下記よりお申込下さい。
指定の用紙を協会宛てにメールしてください。
申込期日は、10月11日(金)とします。
※お申込み後の参加取り消しおよび欠席者への受講料払い戻しは致しませんので
ご注意ください。(後日、討論会発表予稿集を送付させていただきます。)
5. 問合せ先：一般社団法人日本鋼構造協会「第47回鉄構塗装技術討論会」係
【E-mail: jssc-paint@jssc.or.jp】
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-15-8 アミノ酸会館ビル3階
TEL. 03-3516-2151

会場案内図



【第1日】 10月31日（木）

10:30~10:35	開会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 委員長：富山 禎仁（(国研)土木研究所）		
司会：笹原 大輔（AGC株）				
①	10:35 ～ 11:05	塩害地域向けプライマーの設計	○富岡 健吾 日本ペイント株	
②	11:05 ～ 11:35	JISK5552、5553 の改訂と無機ジンクリッチ塗料のペースト化について	○壁谷 康平 関西ペイント株	太田 侑美（関西ペイント株） 中井 一寿（関西ペイント株） 堀 誠（関西ペイント株）

<昼 休：11時35分～12時50分>

特別講演			（司会：坂本 達朗（(公財)鉄道総合技術研究所））	
12:50~13:50	大師橋のリニューアル工事について	首都高速道路株式会社 神奈川局 土木保全設計課 課長 和田 新		

<休 憩：13時50分～14時05分>

司会：小林 泰之（中国塗料株）				
③	14:05 ～ 14:35	ヒドロキシ酸系素地調整剤による錆と塗膜のケレン除去	○山田 新 スズカファイン株	佐藤博昭（スズカファイン株） 中西 功（スズカファイン株） 鈴木隼人（建設塗装工業株） 熊谷好高（大伸化学株） 木村友昭（大伸化学株）
④	14:35 ～ 15:05	効率的な塩分低減方法の検討	○佐藤 和久 西日本旅客鉄道株	中山太士（嵯峨野観光鉄道株） 土井大雅（日綜産業株） 坂本達朗（(公財)鉄道総合技術研究所）

<休 憩：15時05分～15時20分>

司会：松野 英則（大日本塗料株）				
⑤	15:20 ～ 15:50	塗膜はく離剤による塗膜除去後の塗装適性の評価 —沖縄暴露試験 15年後の評価—	○荻田 雄馬 インパiroワンシステム株	富山禎仁（(国研)土木研究所）
⑥	15:50 ～ 16:20	大型試験桁を用いた金属溶射の耐久性調査 —沖縄地区での21年目調査報告—	○大庭 哲也 （一社）日本橋梁建設協会	花輪 務（一社）日本橋梁建設協会 森井茂幸（一社）日本橋梁建設協会 桑名弘暁（一社）日本橋梁建設協会 富山禎仁（(国研)土木研究所）
⑦	16:20 ～ 16:50	鋼橋防食工の補修方法に関する検討 —補修塗装系の暴露試験 15年目結果—	○小林 泰之 中国塗料株	富山禎仁（(国研)土木研究所） 田代 稔（神東塗料株） 壁谷康平（関西ペイント株） 藪見尚輝（大日本塗料株） 石川隆士（日本ペイント株）

【第2日】 11月1日（金）

司会：三谷 誠（関西ペイント株式会社）				
⑧	10:00 ～ 10:30	30年暴露した塗装試験片の塗膜減耗量調査	○後藤 宏明 （一財）日本塗料検査協会	渡辺健児（一財）日本塗料検査協会 岩井将樹（株）高速道路総合技術研究所
⑨	10:30 ～ 11:00	鋼構造物塗装のVOC削減に関する検討（Ⅱ） 無溶剤形・低溶剤形塗料の適用性検討（その8）	○田代 稔 神東塗料株式会社	富山禎仁（国研）土木研究所 壁谷康平（関西ペイント株式会社） 小林泰之（中国塗料株式会社） 藪見尚輝（大日本塗料株式会社） 石川隆士（日本ペイント株式会社）
⑩	11:00 ～ 11:30	重防食塗装系塗膜の耐候性評価	○富山 禎仁 （国研）土木研究所	尾知修平（AGC株式会社） 鳴海瑞菜（AGC株式会社）

＜昼 休：11時30分～12時45分＞

特別講演			（司会：富山 禎仁（前掲））	
12:45～13:45	労働安全衛生法の新たな化学物質規制について	厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課 化学物質評価室 猿渡 敬		

＜休 憩：13時45分～14時00分＞

司会：田代 稔（神東塗料株式会社）				
⑪	14:00 ～ 14:30	既設塗膜の加熱により発生する有害物質の実験的調査	○小西 日出幸 日本橋梁株式会社	川岡靖司（日本橋梁株式会社） 蓬田真吾（オリエンタル白石株式会社） 酒井修平（中日本高速技術マーケティング株式会社） 立松秀之（中日本高速技術マーケティング株式会社） 岩田直樹（株）島津テクノリサーチ
⑫	14:30 ～ 15:00	有害物質含有塗膜のIH工法剥離施工時に発生する有害物質の調査	○蓬田 真吾 オリエンタル白石株式会社	小西日出幸（日本橋梁株式会社） 中原智法（日本橋梁株式会社） 秀 和則（日本橋梁株式会社） 酒井修平（中日本高速技術マーケティング株式会社） 後藤俊吾（中日本高速道路株式会社） 岩田直樹（株）島津テクノリサーチ

＜休 憩：15時00分～15時15分＞

司会：藤城 正樹（日本ペイント株式会社）				
⑬	15:15 ～ 15:45	残存させた旧塗膜の段差形状が塗替え塗膜の耐久性に及ぼす影響	○坂本 達朗 （公財）鉄道総合技術研究所	中山太士（嵯峨野観光鉄道株式会社） 佐藤和久（西日本旅客鉄道株式会社） 星野佑介（日綜産業株式会社）
⑭	15:45 ～ 16:15	循環式プラスト工法を用いた防食技術の更なる高度化	○山田 翔平 （一社）日本鋼構造物循環式プラスト技術協会	小野秀一（施工技術総合研究所）
⑮	16:15 ～ 16:45	Rc-I 塗装工事 —現在とイノベーションへの期待—	○片脇 清士 合同会社管理技術	
16:45～16:50	閉会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 幹事長：坂本 達朗（前掲）		